

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 所 友貴

- 1 日 時 令和4年9月21日（水）第5校時
- 2 学 年 第5学年1組 34名
- 3 単元名 食文化のよさを伝えよう～海田町から発信しよう～
- 4 単元について

### （1）単元観

本単元は、「食文化のよさを伝える」ことを最終的なゴールにして、海田町をテーマに主体的に課題を見だし、その課題を解決するためにどうすればよいのか考え、調べたことをまとめたり伝えたり、協働的に課題解決に取り組むプロセスを繰り返すことができる単元である。また、この学習を通して児童自身が海田に根付いている食文化について知り、深めることで地域への愛着を持つこと、文化を継承していこうという思いをもち、将来的に海田という故郷を語れるようになることを目的としている。より広い視野で食文化を捉え、和の文化の美しさや奥深さなど、新しく気付く点も多様に生まれてくると考える。自分たちの故郷である海田に愛着を抱き、主体的に学習することで一層学びを深めることができると考える。

### （2）児童観

本学級の児童は、これまでに3年生では福祉、4年生では防災について海田町の地域の中で課題を見だし、学習をしてきている。5年生になってからは、「食文化」をテーマに海田町の郷土料理や食材についてあまり知らないという問題から海田の食文化について調べることから始めた。自分たちが知らないだけで海田ならではの郷土料理や食材は意外と身近にあること、今まで何気なく経験したり見たりしていたことなどに気付き、食文化の素晴らしさをよりたくさんの人に伝えたいという思いをもつようになってきた。しかし、どうすれば食文化のよさを広めることができるのか行動に移したり新しいアイデアを考えたりしようとする児童が少なく、自分事として捉えることができていないところが課題である。これは、教師から提示された課題について考える場面が多く、自分たちで課題を考え、主体的に課題解決に向けて話し合う目的や意図、ゴールイメージを明確にもつ経験が少ないことが理由として考えられる。

### （3）指導観

指導に当たっては、次の点に留意して指導していく。まず、身近である食文化の根幹にある海田町の歴史課題をテーマに設定し、海田高校や海田さつまの会などとの連携や校内で他学年に発信、新たなさつまレシピの考案を設定するなどして主体的な学びを促す。次に、毎時の学習の振り返りで自己評価を行う時間を設定する。そこで自分の成長への気付きやグループ内の交流で分かったことなどを整理させるようにする。さらに、グループ活動を充実させることで、友達の考えとの結びつきや自分の考えや思いの整理、そこから新たなアイデアを創造するなど学びを深められるようにする。

探究的な学びのプロセスとして、課題設定（知る）では、児童の疑問やしてみたいという思いを大切にしていきたい。ウェビングマップを活用し、子供の発言から広がったことを可視化することで課題を共有していく。情報収集（観る）では、課題について残っている過去の資料から調べさせたり、地域の方に実際に聞き取りさせたりすることで、より広く知識を身に付けさせたい。整理・分析（探る）では、ICTを積極的に活用したり、思考ツールを活用したりすることで、情報の取捨選択、分析を効果的に行えるように指導していく。まとめ・表現（創る・省みる）では、目的や相手に応じて、食文化のよさを伝える方法を考え行動することで、新たな発見や気付きを次に活かしていけるようにポートフォリオにまとめるようにしていく。

## 5 単元の目標と評価規準

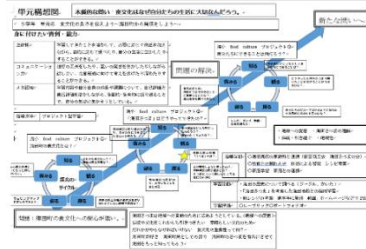
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標	「食文化のよさ」について，自分で決めた課題について調べたり，調べたことを発信したりする活動を通して，友達とかかわりながら，人とかかわり合う力を身に付け，「食文化のよさ」を知ってもらうために何ができるか，どのような方法があるか考え行動することができる。		
評価規準	<p>①食に関わる先人の工夫や努力があること，それらが現在の自分たちの生活に関わっていることを理解している。</p> <p>②活動を通して調べたり考えたりしたことについて，相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。</p> <p>③食文化のよさに気付いている。</p>	<p>①食文化について課題をつくり，解決に向けて自分のできることを考えている。</p> <p>②食文化のよさを伝えるために，必要な手段を選択して収集している。</p> <p>③食文化のよさを伝えるために，収集した情報を取捨選択したり，複数の情報や考えを比較したり，関連付けたり，焦点化したりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ，適切な方法で表現している。</p>	<p>①食文化のよさを伝えるための取組について，見通しをもって考えたり実行したりする中で，得た知識や友達の考え，地域の方々の考えを生かしながら，協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>②課題解決に向けた自分の取組や状況を振り返り，発表に向けて粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>③課題解決の過程で，よりよくするために，見通しの修正を図りながら取り組もうとしている。</p>

## 6 単元で付けたい資質・能力の具体的な児童の姿

メタ認知	自己評価と他者評価を活かしながら自分自身を多面的，多角的に振り返ることで，自らの変容や成長を認めることができる。
コミュニケーション能力	表現の仕方を工夫したり，多様な意見を受け入れたりしながら話し合い，考えをまとめ伝えることができる。
主体性	必要な情報を進んで集めたり，周囲と協働して取り組んだりして学びを深め，自分の生活に生かすことができる。

単元構想図の作成

児童用ルーブリック



資質・能力	主体性	コミュニケーション力	メタ認知
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら行動する</li> <li>自ら学びとすることに関与し、主体的に学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや意見を言う、友達の考えや意見を聞く、自分が感じている物事に共感すること出来る</li> <li>聴き取る</li> <li>自己表現や協働学習が出来る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや意見を言う、友達の考えや意見を聞く、自分が感じている物事に共感すること出来る</li> <li>自分の考えや意見を言う、友達の考えや意見を聞く、自分が感じている物事に共感すること出来る</li> <li>自分の考えや意見を言う、友達の考えや意見を聞く、自分が感じている物事に共感すること出来る</li> </ul>

7 指導と評価の計画 (全 40 時間)

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	思考ツールの活用
1 海小 food culture project① 海田の食文化とは？ (1 2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食文化」とはどんなものがあるのか考えよう。(知る)</li> <li>海田町の郷土料理について調べよう。(知る・観る)</li> <li>海田の郷土料理や食材の課題について考えよう。(探る)</li> <li>調べたことをまとめよう (創る)</li> </ul>	
<b>ポートフォリオによる振り返り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田の食文化について関心をもち、さつまについてももっと詳しく学習していきたいという見通しをもつ。(省みる)</li> </ul>	
2 海小 food culture project② 「海田さつま」はどうやってできたの？ (1 4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の海田はどんな町だったのか調べよう。(知る・観る)</li> <li>「さつま」について調べよう。(知る・観る)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田高校に取材しよう</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田高校の取材から分かったことをまとめて発表しよう。(創る)</li> </ul>	
<b>国語科と横断的に学習</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちができることを考えよう (探る)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマを決めて、準備をしよう。(知る・観る)</li> <li>発信をしよう。(創る)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの活動により、海田町の食文化の良さを発信できたか振り返る。(省みる)</li> </ul>	

校内での発表

チラシによる宣伝

給食 海田さつまを使ったシューマイ

8 本時の学習 (18/40)

(1) 本時の目標

海田さつまが郷土料理として根付いた理由をクラゲチャートを活用して考え、海田さつまが現在に伝承されていない課題について、自分の思いを語るができる。

(2) 観点別評価規準

収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり、焦点化したりしながら解決に向けて考えることができる。【思考・判断・表現】

(3) 学習の展開

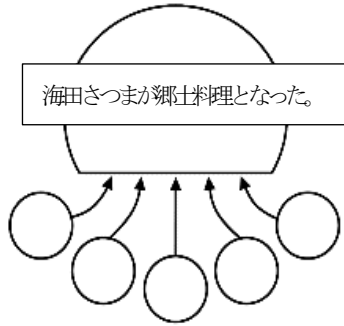
時刻	学習活動 ○主な発問 ・期待される主な児童の反応	指導上の留意点 ● (配慮を要する児童に対する手立て)	☆評価 (評価方法) △準備物
14:00	1 前時の振り返りを行い、本時のめあてを考える。	○学習の見通しを持たせるために、学習の流れを確かめる。 ●振り返りが書きにくい児童にとって、記述の手本を示す。	
14:05	海田さつまが郷土料理として広まったのはなぜだろうか。		
14:10	2 グループごとに海田さつまが郷土料理になった理由や根拠を話し合い考える。	○話し合いの充実を図るために、話し合いの方法を全体に指示し、共通認識をもたせる。	
14:20	3 各班のクラゲチャートを見ながら、全体で気付きを出し合う。	●発言を板書に整理して残すようにする。	
海田さつまは、海や川が近いことから魚の料理を考えたり、宿場町として客をもてなしたりすることなどの「海田のよさ」とつながっていることから郷土料理となった。			
14:30	4 資料から、昔と今の海田さつまの普及の違いに気付き、思ったことや感じたことを話し合う。	○昔と今の海田さつまには普及のギャップがあることに気付かせることで、自分なりの思いを持たせていく。	
14:40	5 本時の振り返りをする。	○本時の学習での気付きや課題について分析して、次時につなげられるようにする。	
14:45	6 次時の見通しをもつ。		
友達と話し合うことで、自分が調べていないことや新しい発見があって学習を深めることが出来た。海田さつまが昔は人気だったけど、今は全然人気ではないことが分かり、これから自分たちが少しでも広げていったり、盛り上げたりしたいなと思った。			☆友達と協働的に話し合い、色々な情報を比較したり関連付けたりしながら、話し合っているか。 (思・判・表) (発言・ふりかえりシート)

(4) 板書計画

9/21 食文化の良さを伝えよう

めあて 海田さつまが郷土料理として広まったのはなぜだろうか？

○広まった背景や歴史は？



写真など



資料  
海田さつまの現在の課題

海や川が近く、魚料理が広まっていたから  
宿場町だったため、おもてなしに使われたから  
栄養があり、手短かに作ることができたから

電子黒板

パンフレット	本	ネット

資質・能力	◎	○
<b>主体性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら行動する。</li> <li>自ら学ぼうとする。</li> <li>自ら気付く。</li> <li>協力して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら行動する。</li> <li>自ら学ぼうとする。</li> </ul>
<b>コミュニケーション力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや意見を言う。</li> <li>友達の話を受け入れながら聞く。</li> <li>分からないことや気になることは質問する。</li> <li>話をまとめる。</li> <li>共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや意見を言う。</li> <li>反応をしながら聞く。</li> <li>共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>
<b>メタ認知</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食文化への関心が高まったことに気付く。</li> <li>自分の成長や課題について考えている。</li> <li>次の課題をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食文化への関心が高まったことに気付く。</li> <li>分かったことや気付いたことを振り返ることができる。</li> </ul>

## 9 ルーブリック

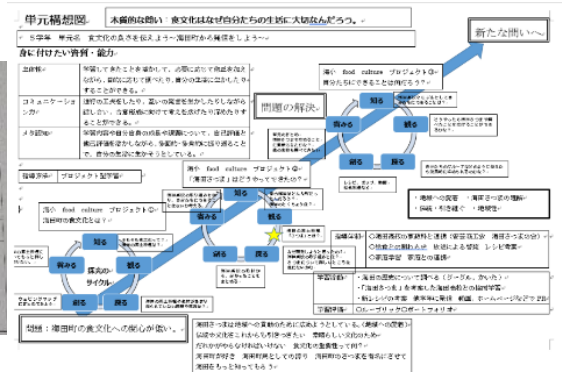
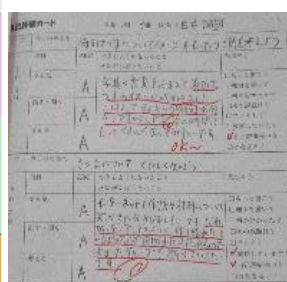
資質・能力	評価S	評価A	評価B	評価C
主体性	・必要な情報を進んで集めたり，周囲と協働して取り組んだりして学びを深め，自分の生活に生かすことができる。	・必要な情報を進んで集めたり，周囲と協働して取り組んだりして学びを深めることができる。	・必要な情報を進んで集め，自分の考えを伝えたり，相手の考えを聞いたりしながら学習することができる。	・目的に応じて調べることができる。
コミュニケーション力	・表現の仕方を工夫したり，多様な意見を受け入れたりしながら話し合い，考えをまとめ伝えることができる。	・友達の考えとの共通点や相違点に着目して，考えをまとめたり伝えたりすることができる。	・自分の考えを明確にしなが話し合い，考えを広げたりまとめたりすることができる。	・自分の考えを書いたり伝えたりすることができる。
メタ認知	・自己評価と他者評価を活かしなが自分自身を多面的，多角的に振り返ることで，自らの変容や成長を認めることができる。	・自己評価や他者評価を生かして，多面的，多角的に学習を振り返ることができる。	・学習内容や自分自身の成長や課題について，自己評価をして学習内容を振り返ることができる。	・学習内容を振り返ることができる。

## 10 振り返りの活用

- ・単元の振り返りシートの作成と児童の振り返りを活用したためづくり

海小 マイ成長チェックリスト

資質・能力	◎	○
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら行動する。</li> <li>・自ら学ぼうとする。</li> <li>・自ら気づく。</li> <li>・協働して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら行動する。</li> <li>・自ら学ぼうとする。</li> </ul>
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を言う。</li> <li>・相手の話を受け入れながら聞く。</li> <li>・自分の思いと相手の思いがぶつかることを楽しむ。</li> <li>・態度をよめる。</li> <li>・共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を言う。</li> <li>・返事をしながら聞く。</li> <li>・共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化への関心が高まったことに気づく。</li> <li>・自分の成長や課題について考えている。</li> <li>・次の課題をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化への関心が高まったことに気づく。</li> <li>・分かったことや気付いたことを振り返ることができる。</li> </ul>



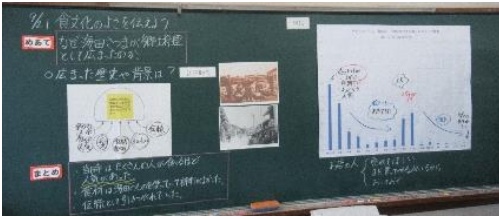
児童用ルーブリックを子どもたちと決め，振り返りシートはポートフォリオ形式でまとめていく方法をとりました。

単元構想図を作成し，子どもの疑問や気付きを予想しながら，子どもの思いや言葉をもとに探求課題を決めていきました。



ウェビングマップに地域の特産物や工場，自然など食文化と関わりのあることをイメージし，まとめていきました。子どもたちの中で海田町の見えていない本質的な部分にだんだんと迫っていくことができました。そして，そこから知りたいことや調べてみたいことの見通しをもつことができました。

・単元の流れ



探求のサイクル③

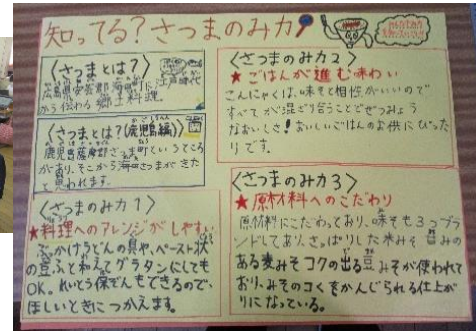
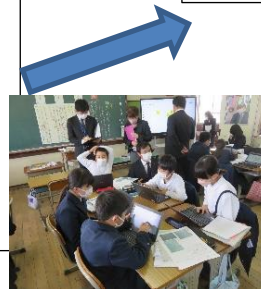
自分たちにできることは何だろう？(14)

- ・自分たちができることを考えよう(探る)
- ・テーマを決めて、準備をしよう。(知る・観る)
- ・発信をしよう。(創る)
- ・自分たちの活動により、海田町の食文化の良さを発信できたか振り返る。(省みる)

探求のサイクル②

「海田さつま」はどうやってできたの？(14)

- ・昔の海田はどんな町だったのか調べよう。(知る)
- ・「さつま」について調べよう。(観る)
- ・海田高校に取材しよう(探る)
- ・海田高校の取材から分かったことをまとめて発表しよう。(創る)
- ・海田高校の取り組みや調べたことから「海田さつま」に対して関心をもち、それらをどのように広めていけるか考えよう。(省みる)



・その他の工夫点

国語科「提案の仕方」との関連→海田さつまを広めるために様々な方法を考え、それを広めていくために提案の仕方を学び、生かしていくことを行っていました。色々なスライド資料などを使い発表しました。

11 単元を通して (○成果 ●課題)

○海田さつまというテーマで単元開発ができ、子供が自分ごととして取り組むことができていた。

○様々な地域の団体や学校などと連携したりつながったりすることで学習が深まった。

○ルーブリックや振り返りの視点を意識することで、子供たちの成長をより促すことができた。

●探求的な学習のサイクルを効果的に行うためには、より大きな計画と見通しが必要だった。次年度へ単元構想シート等を引き継ぎ、学びをつなげていく。

●地域連携の積み上げと実績をつないでいく。

●資質・能力と単元の目標とを関連付け、さらにルーブリックを学びや指導に生かしていく。

海小 マイ成長チェックリスト (児童用ルーブリック)

資質・能力	◎	○
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら行動する</li> <li>・自ら学ぼうとする</li> <li>・自ら気付く</li> <li>・協力して取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら行動する</li> <li>・自ら学ぼうとする</li> </ul>
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を言う。</li> <li>・友達の話を受け入れながら聞く。</li> <li>・分からないことや気になることは質問する。</li> <li>・話をまとめる。</li> <li>・共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を言う。</li> <li>・反応をしながら聞く。</li> <li>・共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化への関心が高まったことに気付く。</li> <li>・自分の成長や課題について考えている。</li> <li>・次の課題をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化への関心が高まったことに気付く。</li> <li>・分かったことや気付いたことを振り返ることができる。</li> </ul>

教室掲示用 (子供と共有する実物)

資質・能力	◎	○
主体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら行動する</li> <li>・自ら学ぼうとする</li> <li>・自ら気付く</li> <li>・協力して取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら行動する</li> <li>・自ら学ぼうとする</li> </ul>
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を言う。</li> <li>・友達の話を受け入れながら聞く。</li> <li>・分からないことや気になることは質問する。</li> <li>・話をまとめる。</li> <li>・共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を言う。</li> <li>・反応をしながら聞く。</li> <li>・共通点や相違点を考えながら話し合う。</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化への関心が高まったことに気付く。</li> <li>・自分の成長や課題について考えている。</li> <li>・次の課題をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化への関心が高まったことに気付く。</li> <li>・分かったことや気付いたことを振り返ることができる。</li> </ul>